

会議顚末書

						記 録 者	徳安 柚花	
供 覧	教 育 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員
件 名	令和6年度第2回龍ヶ崎市図書館協議会							
年 月 日	令和7年2月4日(火)							
時 間	午前10時～11時							
場 所	龍ヶ崎市役所本庁舎5階 全員協議会室							
出 席 者	出席者 【委員】 山村委員長、朝日出副委員長、唯根委員、太田垣委員、新井委員、芳住委員、菊池委員、飯倉委員、油原委員、服部委員、遠藤委員、横須賀委員 【事務局】 大古教育長、松崎課長、清水課長補佐、由利係長、記録者 【図書館指定管理者】 米川館長、佐久間副館長、泉支援担当				傍 聴 人 数		0人	
事務局	1 開会 会議の成立(15名の委員のうち12名が出席し、龍ヶ崎市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第25条第2項に規定している委員定数の過半数以上の出席)							
教育長	2 教育長あいさつ							
事務局	(委員の紹介) (事務局の紹介)							
議長	3 議 事 ※議長:龍ヶ崎市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第25条第1項により会議の議事進行について、山村委員長が会議の議長を務める。 (議事録署名人として朝日出委員を指名。各委員異議なし) 議事に入ります。「龍ヶ崎市立中央図書館及び北竜台分館令和7年度事業計画」について説明していただくのですが、次期指定管理者の事業計画となりますので、説明は事務局よりお願いしたいと思います。							

事務局	(中央図書館及び北竜台分館の令和7年度事業計画について説明)
議長	質疑に入ります。ご質問やご発言をお願いします。
遠藤委員	幾つか質問をさせていただきたいと思いますが、まず5ページの利用者アンケートについてです。そのアンケートはどれぐらい回収できているもので、どんな内容でしょうか。 図書館の設備だとか利用についての設問が多いように思うのですが、読書の傾向や読書頻度についても調査をするべきではないでしょうか。本を読まない小中学生が多くなっているという報道を聞きますけれども、そういった状況でどう図書館に本を配置するのかというのが、やっぱり図書館としてアンケートをとる中で重要じゃないかという気がします。
市立図書館	利用者アンケートの結果は図書館のホームページ上にアップしてありますので、そちらで見ることができます。令和5年度の利用者アンケートでは回答数は519名で、利用頻度や利用しているサービスは何かといった項目や、図書館の施設や開館日数について、全体的な満足度を問う内容となっています。
遠藤委員	私がお聞きしたのは、今のアンケートは図書館サイドから考えて作成していますよね。そうではなくて本を読む人のサイドからアンケートをとって、なぜ本を読まない人がいるのか、それに対してどう図書館として対応していくのか、それを考えていくことが必要なのではないかという気がするんです。
市立図書館	本を読まない人に対しては、本を読むためのイベントではなく図書館に来ていただくためのイベントというものを、今までに多数行ってきました。そうやって本は読まないけれども図書館に来ていただいた方たちに、本を手にとっていただけるよう、館内の展示を毎月変えるなどいろいろ努力をして参ったところなんですけれども、今後の取組みについては、次期指定管理者と引き継ぎをいたします。
議長	他にご意見、ご質問ありますでしょうか。服部委員。
服部委員	本の配列の仕方についてです。前々回ぐらいに多分申し上げたと思うんですが、子供向けのコーナーのところの分類が哲学、心理学、政治、法律、道徳、神話というようになっていまして、これでは一体誰のための分類なのかわかりません。先ほど遠藤委員がおっしゃったように、子供たち向けの分類をしなければいけないのではないかと思います。 それに、児童書コーナーにおいてある雑誌などについても、量はそろっていても、それはたくさん詰まってるだけなんです。図書館にどういう本があって、自分の興味があるものがどこにあるのかっていうのは、全くわから

服部委員	ないんですね。せめて、月ごとのテーマ展示のようなものをしていただければ、子供たちにとっては非常に利用しやすいんじゃないかなと思うわけです。そのうえ、著者ごとに並べてありますが、子供たちは著者で本を選ぶということはほとんどないと思います。大人のコーナーと全く同じ形で、子供のスペースを作るというのは、ちょっとまずいのではないかなと思います。
事務局	ありがとうございます。本の配列につきましては、現在の図書館職員もいろいろ取り組んでいただいているところです。これから、次期指定管理者も交えまして、検討させていただきたいと思います。
議長	他にご質問等ございますか。
菊池委員	11ページの視聴覚資料の保存・活用についてです。カセットテープとか、ビデオテープ、磁気テープの劣化が進んだり、あとはそれを再生する機器がなかなか手に入らなかったり、修理もままならないというような状況になってきていると思うんですが、こういう資料をどんなふうにして活用していくかということを考えていただければと思います。以上です。
事務局	ご意見ありがとうございます。こういったご意見も新しい指定管理者に伝えて事業を進めていけるようにしていきたいと思います。ありがとうございます。
議長	他にご質問ございますか。遠藤委員。
遠藤委員	最近、新聞紙上で書店が減少してきているという話題がありますよね。図書館と書店の連携についてどのように考えられてるのでしょうか。図書館に行きましてベストセラーの本を借りようと思うと、何十人っていう予約者がいるんですが、そういう時にすぐに書店でその本を購入できればいいと思います。いろんな市の動向を見てますと、本の注文を図書館でできたり、図書館で本の注文ができる端末を置いてたりするそうです。図書館で予約した本を書店で受け取れるという取り組みもあって、そうすれば書店に行く機会が出るわけですから、いい連携になるのではないかと思います。そのほか、図書館の司書の方がお勧めの本を選んでそれを書店に掲示するといった企画をすれば、うまく連携できるんじゃないかなと思います。 龍ヶ崎市立図書館としては、本をどこで買っているのでしょうか。書店経由で買ってるっていう市町村もあるようですから、その辺のお考えについてお聞きしたいと思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。人気のある本の順番待ちについては図書館から話を伺っています。そういった場合に図書館という場で本を購入できないかという取り組みの新聞記事につきましては、私どもの内部で共有しているところです。その取り組みは次期指定管理である図書館流通センターが神

事務局	奈川県で試行しているところです。龍ヶ崎でもできるかどうか研究していきたいということでお話を伺っています。
議長	遠藤委員、よろしいでしょうか。
遠藤委員	はい。もう一つよろしいでしょうか。 お願いしたいのは、高齢者に対する居場所づくりです。今、高齢社会となっている中で、図書館は高齢者にとって1つの居場所だと思っています。それに、今回カフェ事業が始まるということはものすごくいいことだと思いますけれども、図書館では子供に対するイベントが結構多いんですね。居場所づくりという図書館の役割の中で、どのようなイベントを開催していくかということについて考えていただきたいです。例えば月1回、何かのテーマを決めて企画をしていくことによって、高齢者の方が図書館に通う機会が増えてくるんじゃないかと思います。 それともう1つ、中高生向けのご提案なんですけれども、本を読みたくなる仕掛けとして本棚の近くに黒板や大きな紙を置いて、そこに中高生の方々が読んだ本のお勧めをイラストだとかメッセージで掲示することで、図書館側からではなく、利用者側から本の紹介をしていく方法もあるかなというふうに考えてみました。
事務局	ご意見ありがとうございます。今、遠藤委員からお話があった中高生による本のお勧めについてですが、こちらの図書館でも、すでに実施しているところです。しかし、周知が十分でなかったかもしれないということで、反省しております。 あとは多くの子どもたちに来館してもらいたいという思いがありますので、子供向けイベントを多く実施しています。ただやはりご意見にあるように、高齢者の方がメインの利用層となっていますから、今回事業計画の中にも、幅広い年代層に対して事業を実施していくことを記載しています。そういったところについても、打ち合わせをしながら進めていきたいと思っています。
議長	他にご質問ございませんか。太田垣委員。
太田垣委員	我々も学校図書館を運営する立場としていろいろ協力させていただき、お互いに刺激となることを交換させていただいているところでして、本当にありがとうございます。カフェスペースを作るとか、図書館施設で待ってないで飛び出していくだとか、そういう動きは本当に素晴らしいと思います。 私から自己批判も含めて2点だけ申し上げさせてください。まず、この時期の会合としては、令和6年度の振り返りをしてからそれをベースに次の令和7年度について話し合うということではないでしょうか。入館者数や利用者層など令和6年度の目標達成度に応じた令和7年度の計画をするとPDCAが動くと思うのですが、数字のグラフもない中でこの計画が合理的なのかという

太田垣委員	のはどうも判断がつきかねるところでございます。 こういうことを申し上げているのは、特に北竜台分館の方ですが、サプラモールのイトーヨーカドーが閉店することで大きく人の流れや客層が変わる可能性がありますけれども、令和7年度の事業計画には、そこが反映されていないと思います。この年度が終わったときの報告が、極めてあられもない形になるんじゃないかという心配がありまして、当然年度計画にはそこが予測でもいいので含まれていてしかるべきだと思います。もう一步、議論のレベルを高められるような工夫をしていただけると、さらにより良い市民のための図書館運営になっていただけるのかなと思います。 それからもう1つ、我々も本当に日々苦慮しているところですけど、とにかく若者の読書離れっていうのが、とどまるところがないような状況で、そんな中で我々の高校図書館のリノベーションをして、蔦屋書店のようなくつろいで本や雑誌を手にとれるような施設にしていこうというところです。手段を選ばず読書習慣の喚起に努めているのですが、その背景にあるのは、今年ぐらいにも人の知能を人工知能が超えるという話があります。そうすると、人が持つべき知識とか情報は何なんだろう、本から得るべき知識や情報は何だろう、それを考えなければならない節目にあるんです。そうしなければおそらく図書館としてもベクトルを誤ってしまうんじゃないかなと思いますので、そのところ我々も学校図書館を運営してる身として、ぜひ一緒に考えさせていただければと思います。よろしくお願いします。
事務局	ご意見ありがとうございます。まず、例年、2月の第2回の審議会につきましては新年度の計画についてご協議いただき、年度初めの6月7月ぐらいの会議で、前年度の事業報告をさせていただいております。本来であれば、同時にできるとよいと考えますが、指定管理者は今までの実績を考慮して計画を作っていますので、計画を策定している過程ではPDCAサイクルができてるのかなというふうには考えているところではあります。 もう一つ、若者の読書離れということですが、電子図書館のありかたについても、子ども読書活動推進委員会という別の会議の方でも話をしているところです。昨年度も一部の学校に電子図書館を導入して授業で利用していたいているところです。
太田垣委員	本当はPDCAサイクルを回すのであるならば、ここのタイミングで報告を出してくださって、それに対していろいろ議論をする場なのかなと思ったのですが、いろいろ参考になるご意見をありがとうございました。
議長	芳住委員。
芳住委員	先ほど、作者順に本が並べられているということでしたけど、本を探すときに、作者で探すんじゃなくて題名で探すってことも多いですね。図書館の方は親切で、こんな題名でこんな内容だっていうとその本を探してくれるんですけども、初めから題名順で並べるというのも1つの方法かなと思ってい

芳住委員	ます。 それから、居場所づくりとしてカフェを作るっていいんですけど、もしこぼしたときにはどのように対処しますか。本が汚れちゃいますよね。それこそ、年配の方は手が震えたり、子供が走ってきてぶつかったり、そういうことはきっとあると思うんですけど、そのときの対処方法を教えてください。
市立図書館	題名順に並べ替えるのには、蔵書が約25万冊ありますので相当大変な作業になります。今は日本10進分類法という図書館での本の基本的な並べ方に沿って図書館の整備をしているところです。文学の棚は作者順に並んでおりますが、それ以外の0類から8類といわれるジャンルの本については、題名順に並んでいます。25万冊もある中、自分で探すのが難しいという方は、館内においてある機械で所蔵している本を検索して探すということもできますし、カウンターに来ていただいて探している本をおっしゃっていただければ、司書がお手伝いさせていただきます。
事務局	本が汚れた場合についてですが、ふたつきの飲料のみ持ち込み可能としますので、多少倒れたぐらいではこぼれないと思います。万が一汚れた場合は弁償という形になりますが、他の導入事例でも基本はあまり汚れないと聞いています。それ以上に、図書館というところでリラックスをして本を読むためであったり、熱中症対策のためであったりといった方向で進めさせていただきたいと考えております。
芳住委員	基本的には汚したら弁償ということですね。
事務局	そうです。
議長	遠藤委員。
遠藤委員	本の名前で探すならば、検索システムに本の名前を入れれば、どの列のどの棚にその本があるよっていうのが出てきます。それから、新しい本ですと新着情報で調べるとずらっと本の名前が出てきますから、そこで検索すれば、どこにあるかっていうのわかります。図書館の本の探し方っていうのはいろいろあると思いますから、それでわからなければ図書館の方に聞けばそこへ案内してくれます。私もどうしてもわからないときは、図書館のカウンターで聞きますが、ものすごく丁寧ですから棚のところまで案内してくれます。本の名前で並べるというのは多分無理だと思いますから、そういう検索方法を取られたらどうですか。
遠藤委員	
芳住委員	はい、ありがとうございます。私もいつも探して図書館の人に見つけてきてもらってご丁寧にしていただき、いつもお世話になっております。ありがとうございます。

議長 横須賀委員	他にご質問ございませんか。横須賀委員。 3点ほど伺いたいと思います。まず1点目なんですけども、先ほどからお話されている本の分類や並べ方のことですが、学校司書の経験に基づいてお話ししたいと思います。 まず、小学校3年生の国語の教科書で、図書館の絵本の場所について学ぶ單元があります。そして小学校4年生になりますと、今度さらに細かく本のラベルに記載されている日本10進分類法、NDCという分類について学ぶ單元がございます。その時に、0類から9類というふうに本は分類されていて、それで、その9類の小説に関しては、作者名で分類されているというふうに子供たちは教科書で習います。学校司書もそれを前提として、実際に学校図書室であるとか公共図書館の見学とかをしてもらっています。 私は龍ヶ崎の中学校で学校司書をやっていた時、夏休みを利用して図書委員や先生たちに手伝っていただいて、0類から9類まできちんと分類を分けた経験があります。とても大変な作業でしたが、国語の教科書で子供に教えている通り並べるべきだと思ったので、そのようになりました。 ただ、どうしても中央図書館の場合を考えますと、蔵書が多いので本を探すのが大変で、私たちでもなかなか見つからないのが現状であります。今度TRCの方に指定管理者が変わるようなので、それを機に変わるところが見られるのかなと思いました。 あと、絵本の分類に関しては、これは学校図書館でも公立の図書館でも非常に悩むところなんですけども、本の題名順に並べた方が、子供たちが探しやすいんじゃないかということは確かにあるかと思います。例えば、いろいろな『ごんぎつね』の本を読みたいとなったときに、本の題名で探す方は一番多いかと思うんですけども、同じ本でも『親子で読む ごんぎつね』だとか『幼児でもわかる ごんぎつね』だといった題名で実際は登録されていて、「ご」の棚に行っても本がそろっているとは限らないです。そういったところ、新美南吉の「に」のところに行けば『ごんぎつね』が全てそろってるということになりますので、分類のことを考えますと作者順に並べるのが一番わかりやすいと思います。先ほど、探してる本がなかなか見つからないという場合は、遠藤委員がおっしゃったように検索で調べてそこに行くのが一番いいと思いましたので、お伝えさせていただきました。 2点目です。16ページの「サービスの向上・充実を図るための新規事業」として「中高生ビブリオバトル」というのがございます。私今仕事でビブリオバトルに関係したことをやっているのでお伝えしたいのですが、図書館でやるのはすごく大賛成なんですけども、やはり学校や教育委員会の協力がなくて人を集めることが難しい現状があると思います。こちらのビブリオバトルに関しましても、中学2年生あたりの教科書からビブリオバトルというワードが出てきます。なので中学生ならばビブリオバトルって確か本の紹介することかなってというのは何となく検討つくと思いますが、小学生はただ好きな本をお互いに紹介してみましようというというだけで、ちょっとまだ馴染んで
------------------------	---

横須賀委員	いないということがあるかと思います。ぜひ学校で司書さんに企画を投げかけて、例えば図書館の場所で行う学校のイベントにするとか、授業の中でやってみようというふうにするとか、学校の中で盛り上げていただければ、こちらの公共図書館の方で開催するにあたってもすんなりと人が集められて、盛り上げることができると思います。 あと3点目です。先ほど太田垣委員からお話がありましたけど、私も事前にいただいた令和7年度事業計画の資料を見て、令和6年度の事業報告ないのかなと思ったんですね。本来でしたら、前半に事業報告があってそして来年度に向けての事業計画があってっていう話し合いが持たれるのが一番いいかなと思うんですけども、いろいろな事情あるかと思いますが、もしできれば次回から令和6年度の事業報告をしてから、事業計画を次期指定管理者から直接、私たちにお話していただければ一番いいかなと思いました。
議長	はい。現場の声をありがとうございました。
事務局	横須賀委員、配列等について大変参考になりましたのでご意見ありがとうございます。ビブリオバトルの集客については、教育委員会全体で周知や具体的な開催方法について新しい指定管理者と相談しながら、進めていきたいと思っております。そして会議の議題については、PDCAを回すことを考えて同時に報告と計画を検討する会議もありますが、現在この会議では年度末に事業計画を審議してから年度明けに事業報告を出させていただいております。今回、お二人の委員からそういったお話を受けましたので、そういったことも検証させていただきたいと思います。
議長	他にご質問やご意見はございませんか。遠藤委員。
遠藤委員	今までの議論を通して、いろいろな課題が見えてきました。まず、ヨーカドーの閉店によって北竜台分館の利用状況が来年度はかなり変わってくるだろうということ。それから若者の読書離れ、書店との連携、前年度の反省をもとに年度目標の数字的なことを議論するという。ですので、新年度が始まる4月頃にもう一度こういう協議会の場を設けていただいて、委員が検討できないものかっていうのを考えてみました。なかなかお忙しいでしょうから難しいかもしれませんが、一度お考えをいただければと思います。
服部委員	すいません、それに関して提案したいのですが、会議でいろいろな意見が出ても、結局その場で終わってしまうように思いますので、できればもっと少人数で図書館運営に関心のある人たちが月に1回ぐらい集まって図書館の廃絶も含めた図書館全体の見直しをする研究会のような機会が必要じゃないかなと思うんですね。というのは、前回、中高生のために辞書を使ったイベントの提案をしたんですけども、その話が一体どこで消えたのか或いは検討なさっていないのかわかりませんが、こういう提案を積極的に研究できる場が必要ではないかなという気がします。

服部委員	その辞書を使ったイベントと、子供の読み聞かせだけでなく朗読劇を企画して、高校の演劇部に演者を頼んだらどうかなってというような話を長野県の公立図書館にメールで提案をしたところ、検討したいと返ってきています。それが、検討なさってるかどうかどんな結果になってるかどうかはわかりませんが、僕はそういう研究会みたいなものがぜひ行われることが必要じゃないかなと思います。
議長	はい、ありがとうございます。他にご質問ございませんか。 他にご質問等がないようでしたら、「龍ヶ崎市立中央図書館及び北竜台分館令和7年度事業計画」について承認したいと思います但よろしいでしょうか。 (異議なし)
議長	それでは、承認いたします。 6 その他
菊池委員	お疲れ様でした。以前は図書館の中で会議をやっていたと思うんですけど、ここ数年、市役所の全員協議会室でこの会議が行われることになってますね。やはり、図書館の雰囲気を感じたり施設を見たりできるので、図書館で開催したほうがいいんじゃないかなと思っています。人数の関係などいろいろあると思うんですけど、ちょっと考えてみていただければと思います。以上です。
議長	事務局は検討の方をお願いいたします。
事務局	はい。それではそちらの件は事務局で検討させていただきます。
議長	ほかに連絡事項等がなければ、これで令和6年度第2回龍ヶ崎市図書館協議会を閉会いたします。慎重なご審議、ありがとうございました。

	令和7年2月4日に開催された龍ヶ崎市図書館協議会会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和7年 月 日 議事録署名人 _____ 議事録署名人 _____		
要措置事項			
情 報 公 開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）
		公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	年 月 日

※ この様式は、会議顚末書その他、報告書（人事課に提出する研修報告書は除く）、交渉記録簿、打合せ顚末書等に適宜表題を変更して使用します。